

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人長岡福祉協会	代表者	田宮 崇
事業所名	小規模多機能型居宅介護川崎	管理者	中野 晃彦

法人・事業所の特徴

H24年5月に開設。1階に小規模、サテライト型特養、地域交流スペース、キッズルームが併設されている。地域の方も気軽に利用できるスペースがあり、フリーカフェを行なっている。地域の中の施設としての特性を活かせるよう、利用者の想い、希望、ご家族や多職種との連携を図りながら、生活が継続できるように取り組んでいる。

出席者	市町村職員	1人	知見を有するもの	3人	地域住民・地域団体	3人	利用者	1人	利用者家族	1人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	1人	事業所職員	2人	その他	0	合計	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>●「情報シート」の活用について、ミーティングでのモニタリング時に見直しを行い、情報の更新・共有し統一したケアに努める。また、更新した情報がひと目で分かるように工夫する。</p>	<p>●ミーティングの時間も限られており、他の情報共有に時間を使うため、情報共有に割く時間が無いことと、新しい情報がなく更新が止まってしまっていた。</p>	<p>●おそらくやるべきことが多いでしょう。仕事におわねられているような印象です。情報の更新ができるよう話しをする時間を十分に取った方が良いと思います。利用者さん理解は大事かと思えます。</p> <p>●御利用者様や御家族様の情報等、継続的な収集や職員間での共有に努めていると思えます。</p> <p>●その中で「情報シートの活用が止まっている」との意見もあり、更新方法を改善し職員全員が有効活用できるようになればと思います。</p> <p>●ミーティング時に情報共有をし情報シートの更新をするということですが、ミーティングの時間が短いのでしょうか？時間を増やしてはどうでしょうか？</p>	<p>●事前訪問時には介護職員や、医療的支援も必要な方には看護職員ができる限り同行し、複数の視点から情報収集に努め、初回利用から安心して利用していただけるように取り組む。</p> <p>●日頃の通い、訪問・送迎時や、ご家族へのアンケートから、ご利用者・ご家族の意見や要望を聞き取り、反映していくことでサービスの質の向上に繋げる。</p>

B. 事業所のしつらえ・
環境

<p>●新型コロナウイルスの感染状況や感染防止対策の状況により、センター内(地域交流スペースやキッズスペース)の活用が難しい為、状況に合わせてPRポスターの作成、回覧での情報発信を継続する。</p> <p>●中庭のスペースを地域の方、入所者の休憩所として活用していたり、季節に応じた植物を植える(設置する)。</p> <p>●センター内でも四季を感じてもらえるように玄関、交流スペースの空間を活用し展示を継続する。</p>	<p>●徐々にではあるがセンター内の活用が行えるようになってきた。広報誌にて地域交流スペース、キッズスペースの情報発信を行った。</p> <p>●中庭のスペースにベンチを設置し、夏はヒマワリなど季節に応じた植物を植えた。</p> <p>●地域交流スペースや玄関に季節を感じられる装飾や、ご利用者と一緒に作った創作品の展示を継続し四季を感じていただけるといったように図った。</p>	<p>●事業所の交流スペースは、明るく和みややすい感じがしてとても雰囲気が良いです。</p> <p>●事業所内は静かで落ち着いているように感じました。</p> <p>●事業所の玄関前に御利用者様の作品や植物等の飾りがあり、入りやすい雰囲気を感ぜられるように工夫されています。</p>	<p>●中庭のスペースを地域の方、入所者の休憩所として活用していただけたら嬉しい(設置する)。</p> <p>●センター内でも四季を感じてもらえるように玄関、交流スペースの空間を活用し創作品の展示を継続する。</p>
---	--	---	--

C. 事業所と地域のかかわり

- 新型コロナウイルスの感染状況やサポートセンターへの来館制限に对应した地域啓発活動「まちのね」を行う。(紙上まちのねとして閲覧板での情報発信も含めて検討する)
- コミュニティセンターに広報誌をおかしていたなど、一人でも多くの方に知っていたり、きつかけを作る。
- 広報誌を作成する際に、センターの情報を分かりやすく記載した文章や興味を持っていただけるような内容を載せてPRに努める。

- コロナ禍のため「まちのね」の計画、開催ができなかった。
- コミュニティセンターに広報誌を置かせていただく計画は実施できなかつたが、広報誌を年6回配布し少しでも興味を持っていただけたように努めた。
- 今年の広報誌では、センターの情報(地域交流スペースの情報、防災関連等)を発信しPRに努めた。

- 施設利用を考えている方にはサポートセンター川崎は地域の方によく知られています。
- 「あそこにごぶし園の建物がある」とは知られています。
- 川崎新聞を作成し、地域の方に向けて頂けるような取り組みが行われていると思います。
- サービス内容を知らせる機会があると良いと思います。
- 新型コロナウイルスの感染状況に応じて様々な対応は継続されていると思いますが、できる方法での情報発信や交流活動等を行って頂きたいです。
- 地域交流スペースを子供会に提供する等、地域の方に入って頂けるよう努めている事が分かります。

- 新型コロナウイルスの感染状況やサポートセンターへの来館制限に对应した地域啓発活動「まちのね」を行う。(紙上まちのねとして閲覧板での情報発信も含めて検討する)
- 小・中学校への地域啓発活動の実施、コミュニティセンターにて福祉講座の開催や広報誌を置かせていただくなど、一人でも多くの方に知っていただくきつかけを作る。
- 広報誌を作成する際に、センターの情報を分かりやすく記載した文章や興味を持っていただけるような内容を載せてPRに努める(年6回配布)。

<p>D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<p>●コミュニティセンターでの各種行事や地域での行事には、ご利用者のご希望に応じて新型コロナウイルスの感染対策に十分配慮し、参加していただく。</p> <p>●新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、ご利用者のご希望に応じて、安全を確保した上で、外気浴や家庭菜園・外出ドライブ等の機会を計画・実行しできる事への工夫を行う。</p>	<p>●コミュニティセンターで開催した「ふれあいサロン」ではご利用者にも参加していただけた。</p> <p>●コロナ禍でも楽しみを持ちたいだけのように、家庭菜園や外出ドライブを計画し実行することができた。</p>	<p>●コロナ禍の中でもドライブ外出をされていられ御利用者様も喜んでいらる事が分かった。</p> <p>●地域でのイベントは分らないが事業所内での行事は楽しさが資料等から伝わって来ました。</p> <p>●新型コロナウイルスの感染状況に応じ、可能な活動を行う工夫がされていると思います。</p>	<p>●コミュニティセンターでの各種行事(ふれあいサロン等)、センターでの「まちなね」や季節の行事には、ご利用者のご希望に応じて新型コロナウイルスの感染対策に十分配慮し、参加していただく。</p> <p>●新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、ご利用者のご希望に応じて、安全を確保した上で、外気浴や家庭菜園・外出ドライブ等の機会を計画・実行しできる事への工夫を行うことを今年度も継続する。</p>
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<p>●今後も専門職の方に運営推進委員として参加して頂き、地域の中での課題等、多方面からの情報収集・情報交換を行い、センターとしての役割を果たす。</p> <p>●運営推進会議で出した提案や意見を、事業所ミーティング時に検討し事業所に活かし、実施した際には、運営推進会議にて報告する。</p>	<p>●今年度から徐々に対面での開催が行え、地域の課題や多方面からの情報を直接お聞きすることができた。</p> <p>●運営推進会議でいただいた提案や意見は、連絡ノート等で職員全員に周知を行い、その結果を会議にて報告している。</p>	<p>●四半期毎の会議に参加させて頂き、事業所の課題点をその都度お話しされて改善に向けての取り組みは評価できま</p> <p>●事例検討の機会もあると良いかもしれ</p> <p>●地域の困り事を運営推進会議を活用し、情報収集されていると思います。</p> <p>●事業所で開催されるようになり、多方面から意見交換が直接でき情報収集もしやすくなったと思います。</p> <p>●地域での課題の意見交換もあり、何かあれば事業所と地域が一緒に取り組んでいく関係であると感じます。</p>	<p>●今後も専門職の方に運営推進委員として参加して頂き、地域の中での課題等、多方面からの情報収集・情報交換を行い、センターとしての役割を果たす。</p> <p>●運営推進会議で出した提案や意見を、事業所ミーティング時に検討し事業所に活かし、実施した際には、運営推進会議にて報告する。</p>

F. 事業所の
防災・災害対策

●センターの防災訓練について、新型コロナウイルスの状況により、運営推進委員の方に参加して頂くことが難しいことも想定されるため、防災訓練の様子を記録し、結果を運営推進会議にて報告し、評価頂く。

●地域の合同行事、合同防災訓練等情報収集し、可能な限り参加する。

●災害時には、一時的な福祉避難所として地域の必要な方に活用していただくことを、センターのPRポスターや回覧に載せ、地域の方へも情報発信する。

●防災訓練の様子は運営推進会議にて報告ができた。また広報誌や運営推進会議にて訓練参加の呼びかけは行えた。

●地域の合同行事、合同防災訓練等に参加することができなかった。

●広報誌にて災害時の情報発信が行えたが、PRポスター等の作成はできなかつた。

●事業所の防災訓練を合わせて参加して頂くように調整するのは大変難しいと思います。

●地域の方から頼りにしてもらいたいと同時に地域の方から助けて頂かなければならないこともあると思いますのでその関係図っていかなくてはなりません。

●防災訓練の様子は運営推進会議で報告されています。

●福祉避難所としてのPR活動を行い、地域の方がいざという時の安心の認知度が広がっていると思います。

●災害行動表は見やすく作成されていると思います。

●センターの防災訓練について、新型コロナウイルスの状況により、運営推進委員の方に参加して頂くことが難しいことも想定されるため、防災訓練の様子を記録し、結果を運営推進会議にて報告し、評価頂く。

●地域の合同行事、合同防災訓練等情報収集し、可能な限り参加する。

●災害時には、一時的な福祉避難所として地域の必要な方に活用していただくことを、回覧に載せ地域の方へも情報発信する。